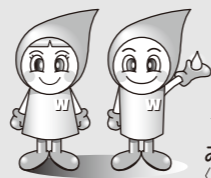


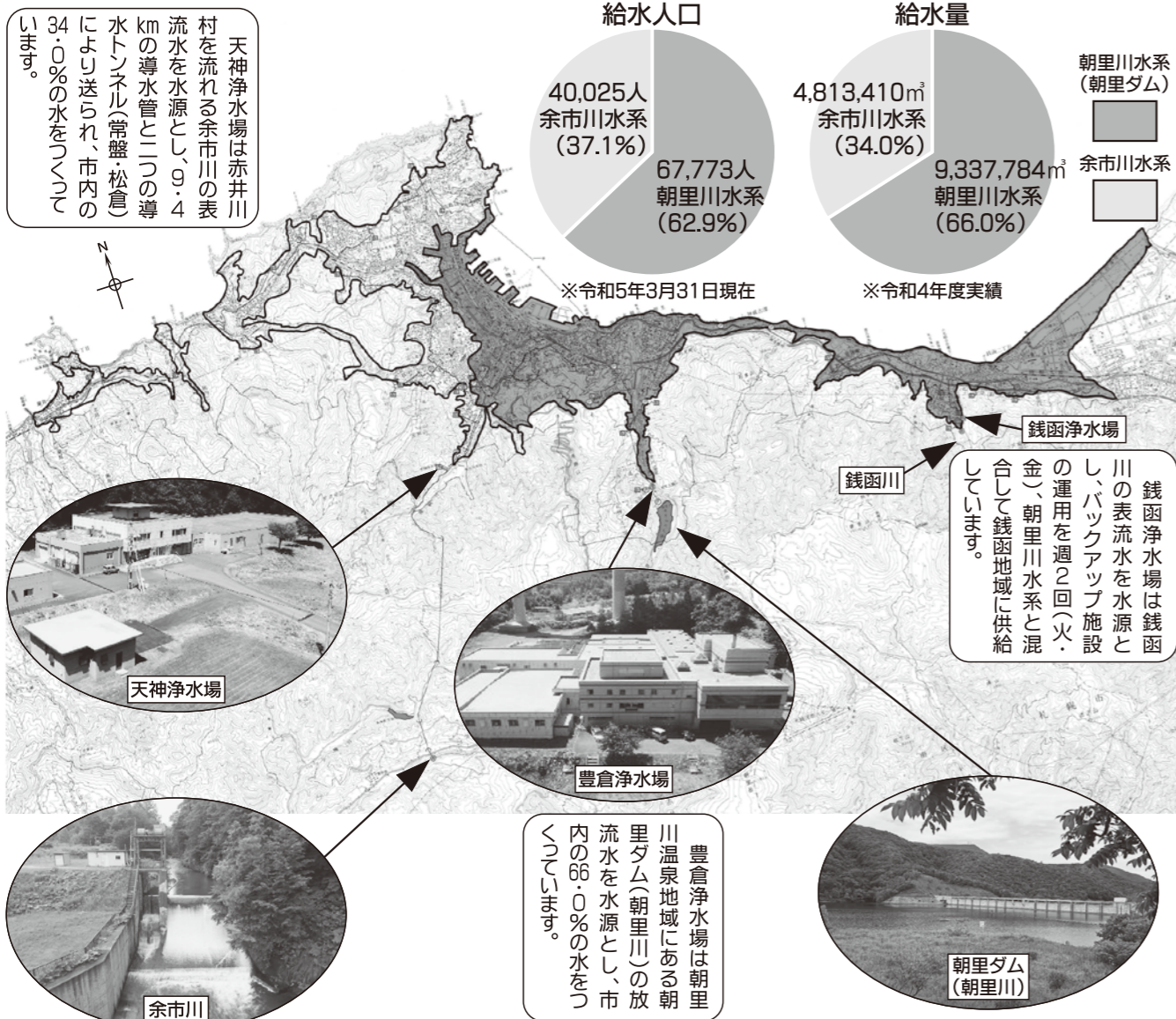
Water in Otaru

水おたる



水道局広報
第51号

令和5年11月1日発行
みずきちゃんとみずおくん
(小樽市水道局キャラクター)



いつも飲んでいる水道水はどこの水?
小樽で暮らす私たちの毎日の生活に必要な「水」。その水源はどこかご存じでしょうか?

余市川を水源とする区域
蘭島、忍路、桃内、塩谷、オタモイ、幸、長橋1丁目、長橋2丁目、長橋3～5丁目、祝津、赤岩、高島1丁目、高島2～5丁目、手宮2・3丁目、末広町、梅ヶ枝町、清水町、豊川町、石山町、稲穂5丁目、花園5丁目、富岡1・2丁目、緑1丁目、緑2～5丁目、最上、松ヶ枝、入船3・4丁目、入船5丁目、奥沢3～5丁目、天神
※印については両方の区域にまたがっています。

朝里川(朝里ダム)を水源とする区域
長橋2丁目、高島1丁目、手宮1丁目、手宮2・3丁目、末広町、梅ヶ枝町、錦町、清水町、豊川町、石山町、色内、稲穂1～4丁目、稲穂5丁目、花園1～4丁目、花園5丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、入船3・4丁目、富岡1・2丁目、緑1丁目、住ノ江、住吉町、有幌町、信香町、若松、奥沢1・2丁目、奥沢3～5丁目、真栄、潮見台、新富町、勝納町、若竹町、築港、桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、新光町、朝里川温泉、張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
※印については両方の区域にまたがっています。

水道局では、安全で良質な水道水を皆さんにお届けするため、24時間365日つくり続けています。しかし、水は限りある資源です。一人一人が工夫し、大切に使いましょう。
■お問い合わせは水道局浄水センターへどうぞ。 ☎ 3040 FAX 3063



水道の凍結にご注意ください

一般的に外気温が氷点下4度以下になると、日中でも水道が凍結することがあります。水道が凍結すると、水が使えなくなるばかりでなく、水道管の破裂などにより修理代が必要となります。外出時や就寝前には、水抜き栓で水を落とすなど、水道の凍結にご注意ください。

水抜き方法及び解氷方法

※凍結を防ぐための水抜き方法

(1) 台所などの場合(図1)

- 蛇口(A)を閉める。
- 水抜き栓(B)を止める。
- 蛇口(A)を開け、管内の水を出し切る。
- 蛇口(A)を閉める。

(2) 水洗トイレの場合(図2)

- 水抜き栓(B)を止める。
- タンクにあるハンドル(A)を「入」の方向へ回し、タンクの中の水を空にする。

※もしも凍り付いたときの解氷方法

図1、2の○のキヤンパンの部分にやかんなどでお湯をゆっくりに注ぎ、凍結部を解氷します。その際、管が破裂する恐れがあるので、熱湯は使用しないでください。

※お湯を注いでも水が出ない場合

お近くの小樽市指定水道工事店に、凍結修理の依頼をしてください。費用は、使用されている方の自己負担となります。なお、修理の内容によっては費用は異なりますので、依頼する前に問い合わせた小樽市指定水道工事店に必ずご確認ください。

■お問い合わせは水道局水道事業課へどうぞ。
☎ 20111 FAX 20000

下水道の使用ルールを守りましょう

「家庭で排水管を詰まらせたり、傷めたりする修理代などの思わぬ出費がかさむこととなります。次のことを参考に、ルールを守って使用しましょう。

水洗トイレには、ティッシュペーパー、紙オムツ、生理用品、たばこやガムなどものは流さないようにしてください。

マヨネーズ、天ぷら油、野菜くず、残飯などを直接流さないようにしましょう。また、排水口には必ず網などを付けてください。

■お問い合わせは 水道局水処理センターへどうぞ。
☎ 2545 FAX 2596

冬道に現れるマンホール上の「くぼみ」にご注意

冬期間の生活道路などでは、マンホール上の圧雪された雪が融けて「くぼみ」となることがあります。水道局ではマンホールの中に断熱内蓋を設置し「くぼみ」の緩和に取り組みますが、市内には未設置箇所があります。車の運転や歩行の際は、路面状況に十分注意してください。なお、車の走行などに支障がある場合は、下水道事業課までご連絡ください。

■お問い合わせは水道局下水道事業課へどうぞ。
☎ 1173 FAX 0000

マンホール蓋の温度が高くなり雪が融け「くぼみ」ができる

圧雪 アスファルト舗装 マンホール 圧雪 アスファルト舗装

下水道管を流れる汚水(冬期間でも水温5度以上)

水道・下水道使用水量等のお知らせ

令和5年12月分(10月7日～12月6日使用分)

お客様番号	12-345678
口径	13mm 用途 11 家家用
花園2丁目11番15号	

水道 太郎様

使用水量等のお知らせ

今回指針	* m ³	m ³
(-) 前回指針	48 m ³	m ³
(+) 前ヶ月水量	* m ³	m ³
使用水量	水道 25 m ³	下水道 25 m ³

積雪のため推定しました。

前回使用水量	25 m ³	前年同月使用水量	28 m ³
料金等のお知らせ(税込)			
水道料金	3,811 円	下水道使用料	3,388 円
請求金額	7,199 円		

この欄に記載されています

積雪などの検針がとれないときは、やむを得ず使用水量を「推定」させていただきます。

使用水量の推定について

お客様の過去の実績を参考にした水量を当月分の使用水量とさせていただきます。この「推定」した場合は、「水道・下水道使用水量等のお知らせ」に推定した理由等を記載しています。

雪解け時や障害物を取り除かれて検針ができたとき、前回の検針からの使用水量を平均的に使用したものととして再計算し、推定料金の精算を行います。

なお、推定水量は変更することができませんので、家族数などで使用水量の変動が見込まれるときは、料金センターまでご連絡ください。

料金はいじりません。

積雪などの検針がとれないときは、やむを得ず使用水量を「推定」させていただきます。

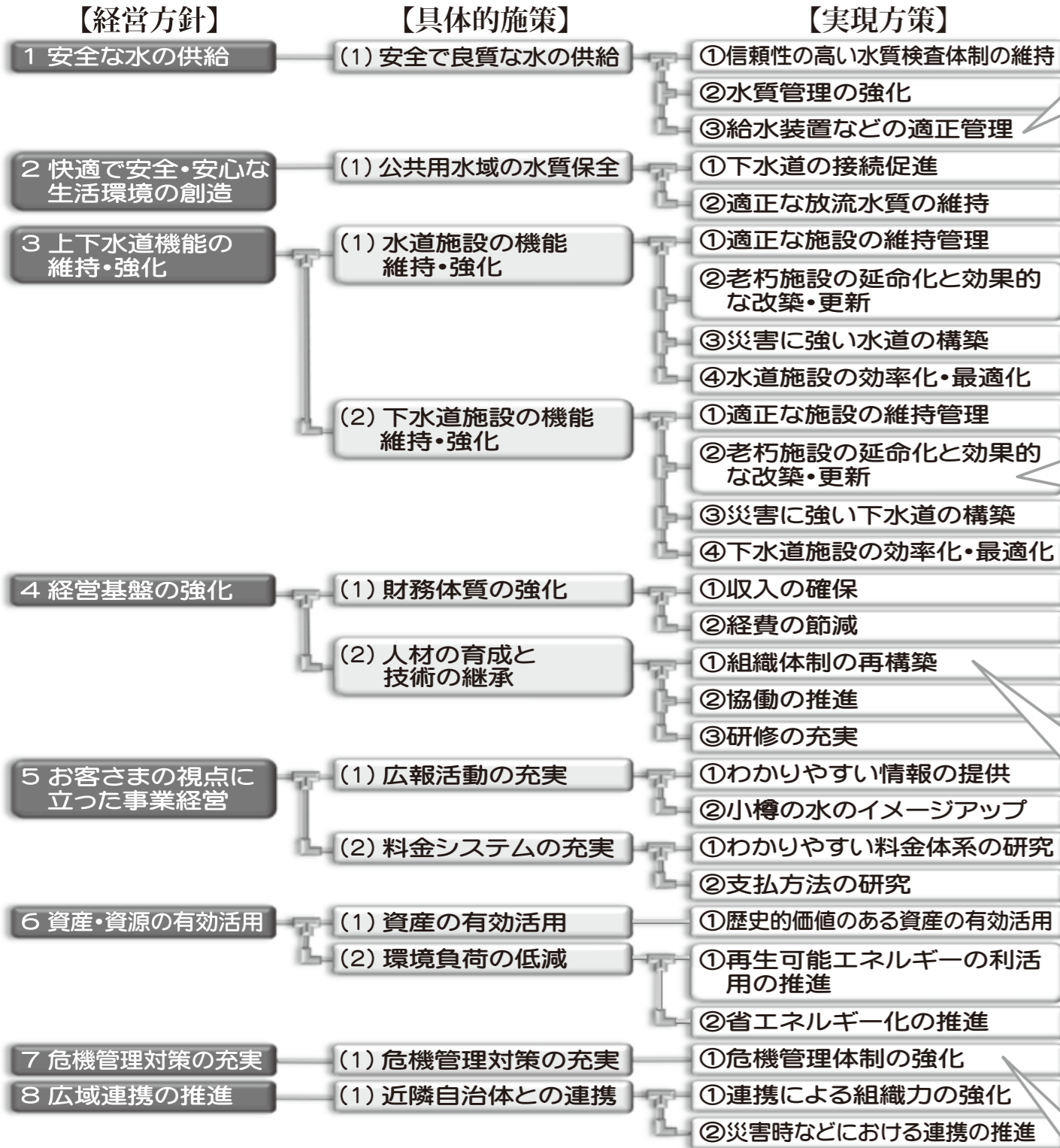
第2次小樽市上下水道ビジョンの進捗管理について

水道局では、令和元年12月に策定した第2次小樽市上下水道ビジョン（令和元～10年度）に基づき、中長期的な視点で効率的、効果的に事業を進めることで、将来にわたって持続可能な上下水道サービスの提供に努めています。

本ビジョンでは、「未来につなげよう、信頼される『おたるの上下水道』」を基本理念とし、8の経営方針と12の具体的施策、28の実現方策を設定しています。

今回は、実現方策の中から、四つの進捗状況（令和4年度末時点）について紹介します。

第2次小樽市上下水道ビジョンで定めた経営方針実現のための施策



1-(1)-③ 給水装置などの適正管理

小規模貯水槽*1は、定期的に清掃や検査等の適正な管理を行わなければ水質に問題が生じる場合があります。水道局では、適正な管理を行ってもらうため、設置者にリーフレットを配布するなどの周知活動を行っています。

また、建築確認申請書類の調査により給水装置*2の無届工事の疑いがあるものについては現地調査を行い、無届工事を確認した場合は、施工業者に指導するなど給水装置等の適正管理に努めています。



リーフレットの配布

小規模貯水槽*1 ビルやマンションなどで、水道水をいったん受水槽にためてから利用者に給水する施設で、受水槽容量が10立法メートル以下のもの。
給水装置*2 道路に埋設された水道本管の分岐箇所から蛇口（貯水槽方式では貯水槽の接続箇所）までの装置。

3-(2)-② 老朽施設の延命化と効果的な改築・更新

下水道施設の適切な維持管理を継続して行い、修繕等により老朽化した施設の延命化を図るとともに、令和元年度に策定したストックマネジメント計画*3を基に、事業費の平準化を図りながら効果的な改築・更新を行っています。



マンホール蓋改築

また、適時、ストックマネジメント計画等の見直しを行っており、より実施効果の高い計画となるよう努めています。

ストックマネジメント計画*3 構造物や施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、施設が整備されてから維持修繕、改築、処分を含めた生涯費用を低減するための管理手法。

4-(2)-① 組織体制の再構築

水道局では職員の採用を控えた期間などがあったことから、50歳以上の職員の占める割合が大きく、年齢バランスが偏った状態になっていました。

人員バランスを考慮した職員配置により、職員の平均年齢と50歳以上の職員の割合は、ともに改善に向かっていきます。

	平成30年度	令和4年度
職員の平均年齢	45.6歳	44.2歳
50歳以上の職員の割合	46.3%	37.7%

また、知識や技術の共有・継承につながるよう、これまで整備（上下水道）と維持（上下水道）に分かれていた組織を水道（整備・維持）と下水道（整備・維持）に再編するなど組織体制の再構築に努めています。

7-(1)-① 危機管理体制の強化

近年、全国各地で地震や集中豪雨などの自然災害により、上下水道施設が甚大な被害を受け、市民生活などに影響を与えるケースが見られます。

水道局では、職員が非常時に迅速かつ的確に対応がとれるように小樽市上下水道BCP*4を策定し、策定後は必要に応じて修正を行っているほか、職員研修の実施や各種訓練に参加するなど、BCPの精度向上を図るとともに危機管理体制の強化に努めています。



小樽市総合防災訓練

小樽市上下水道BCP*4 災害時などに人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等を定めた計画。

未来につなげよう、信頼される
“おたるの上下水道”

「第2次小樽市上下水道ビジョン」関係書類は水道局ホームページに掲載していますので、二次元コードまたは下のアドレスからアクセスしてください。



<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020112200202/>
また、本ビジョンは水道局本庁舎、市役所別館1階市政資料コーナー、図書館、駅前・銭函・塩谷各サービスセンターでも閲覧できます。

中央下水終末処理場の上空から見た小樽の街並み